

九州地方の火山活動解説資料 (平成 17 年 9 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

九州地方および山口県の活火山



- ：噴火した火山
- ：活動が活発あるいはやや活発な状態にあるか、観測データに変化があった火山
- ：解説を掲載した火山
- ：その他の火山

この資料は、気象庁の観測データその他、防災科学技術研究所、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、阿蘇火山博物館のデータも使用し作成しています。

次回の火山活動解説資料の公表は 11 月 8 日(火)の予定です。この火山活動解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。

九重山[静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
中岳第一火口の湯だまりは、降水の影響で量が約 7 割に増加し、その後約 6 割で経過しましたが、表面温度は 70 前後の高い状態が続き、浅部の熱的活動はやや活発でした。

湯だまり量の増加により、火口底の赤熱現象と湯だまり内の小規模な土砂噴出は見られなくなりました。

雲仙岳[静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山

[御鉢 :やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
御鉢では火口縁を超える噴気が観測され、やや活発な状態が続いています。

[新燃岳 :静穏な状況(火山活動度レベル1)]
新燃岳では火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(火山活動度レベル2)]
噴火*は 2 回ありましたが、爆発的噴火はありませんでした。ごく小規模の噴火が時々発生しました。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
火山性地震が多発した日があるなど、火山活動はやや活発でした。噴火はありませんでした。

口永良部島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
火山性地震の発生はやや多い状態が続き、火山活動はやや活発でした。

諏訪之瀬島[活発な状況(火山活動度レベル3)]
噴火が時々発生するなど、火山活動は活発でした。爆発的噴火はありませんでした。

* 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは一定規模以上の噴火の回数を計数しています。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表日時	概要
阿蘇山	火山観測情報第 42 号	2 日 11 時 00 分	やや活発な状況（火山活動度レベルは 2）。 1 週間の火山活動状況（地震・微動、噴煙、赤熱現象等）と現地観測結果（中岳第一火口底の湯だまりの量・表面温度、土砂噴出等）。
	火山観測情報第 43 号	9 日 11 時 10 分	
	火山観測情報第 44 号	16 日 11 時 00 分	
	火山観測情報第 45 号	22 日 11 時 00 分	
	火山観測情報第 46 号	30 日 11 時 00 分	